

# JAPAN POWER FASTENING

日本パワーファスニング株式会社 第53期事業のご報告

[平成27年1月1日～平成27年12月31日]



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のことと心からお喜び申し上げます。

第53期(平成27年1月1日～平成27年12月31日)の事業のご報告を行うにあたりまして、株主の皆さまのいつに変わらぬご理解と温かいご支援に厚く御礼申し上げます。

さて、当事業年度における日本経済は、前半は原油安によるコスト低減や円安・株高の進展等により緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、夏場以降は、中国経済の減速感が強まる中、資源価格の急落や米国の利上げなどによる海外景気の低迷や金融市場の混乱を背景に、国内景気は足踏み状態となりました。

このような経済・金融環境のもと、当社グループは国内外の生産体制の見直しによる原価低減活動を進めるとともに、不採算取引の改善や経費削減に取り組んでまいりました。しかしながら、持家の新設着工戸数が減少したことに加え、メガソーラー用ファスニング製品の減少等により、当連結会計年度の売上高は8,154百万円と前期に比べ3.3%の減収となりました。売上数量の減少に加えて、前期に比べ大幅に円安が進んだことによる中国子会社生産品の採算悪化により、経常損益は597百万円の損失(前期は178百万円の損失)に、また、固定資産に対する減損損失等を特別損失に計上したことにより、当期純損益は716百万円の損失(前期は245百万円の損失)と多額の赤字を計上するに至りました。為替相場の影響という外部要因は有るものの、市場の変化

対し的確に経営・生産体制の見直しを行う等の経営判断が遅れたことが業績悪化の最大の要因であると考えております。株主の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけいたしますこと、心からお詫び申し上げます。

既に迎えております第54期(平成28年12月期)につきましては、経費の削減はもとより、子会社の再編や拠点の統廃合により人件費をはじめとする大幅な固定費削減をグループ全体で強力に進めるとともに、前期より進めてまいりました中国子会社生産品の国内移管や不採算取引の改善を更に進めてまいります。また、国内のリフォーム市場を中心に商品ラインアップの強化や中国内需の開拓を進めることで、売上高8,500百万円、経常利益10百万円、当期純利益15百万円を見込んでおります。

なお、経営責任を明確化し、赤字脱却に向けグループ一丸となった取り組みを強力に推進するため、代表取締役の異動を含む経営体制の刷新を行うとともに、より実効性の高いコーポレートガバナンスを推進するため監査等委員会設置会社へ移行します。

株主の皆さまにおかれましては、これからも引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

日本パワーファスニング株式会社

代表取締役会長兼社長 **土肥雄治**

## 建築用ファスナーのトップメーカーとして 最適かつ安全・安心なファスニング製品を提供し、 皆さまの快適な生活をサポートしてまいります。

### 建築用ファスナー及びツール

鋼材、木材、コンクリート、石膏ボード、ALC(軽量気泡コンクリート)に対応したさまざまなファスニング製品を提供しています。



### 住宅用金物

大手住宅メーカー向けに、プレハブ住宅をはじめとした鋼構造住宅の部材接合に用いられる金物を提供しています。



### 自動車・家電用部品

中国国内で日系メーカーへ自動車・家電用部品を提供しています。



### ソーラーパネル組立

これまでに培ったファスナーの製造技術、ノウハウを生かし、平成22年1月よりソーラーパネルの組立生産を行っています。



## TOPICS 01 展示会への出展により、 当社製品のPRに努めています。

当社は昨年、JPFブランドの認知度アップならびに製品PR・新市場開拓のため、3つの展示会に出展いたしました。いずれの展示会においても、より多くのお客様から当社に興味を持っていただけるよう、出展する製品、ブースの構成に工夫をこらし、多くのお客様に立ち寄っていただきました。

開催日	展示会名	会場	内容
2015年 8/27~8/29	JAPAN DIY HOMECENTER SHOW	幕張メッセ	大工道具、日用消耗品、カー用品他、ホームセンターで扱う幅広い商品を一堂に集める住生活に関する総合展示会
<b>初出展!</b> 2015年 11/11~11/13	鉄道技術展	幕張メッセ	鉄道車両・構造、運行管理、土木他、鉄道分野の技術に関する総合展示会
2015年 11/18~11/20	Japan Home & Building Show	東京ビッグサイト	住宅メーカー、工務店、リフォーム業者、内装業者などを対象とした住宅建材・部材・設備・サービスの専門展示会

### JAPAN DIY HOMECENTER SHOW



▲新提案の Gondola 棚

アンカーのDIYシリーズ、およびMBテクスのCUTE/パックの新仕様の発売でホームセンター向け商品が充実しました。これまでホームセンターへの提案は個別の商品単位で行っていましたが、新たに Gondola 棚ごとの設置を提案し、主要なホームセンターのバイヤーにPRすることができました。



▲ハーフBOX ▲COOLパック ▲CUTEパック

### 鉄道技術展



昨年度初出展いたしました「ハイウェイテクノフェア」に続き、土木業界の市場調査を目的に初めて出展いたしました。

本展示会では参考出展の接着剤「TPメイト」とコンクリートアンカー「タップスター」を併用することで、待ち時間なく次工程に進める点に関心が集まりました。



▲TPメイト

### Japan Home & Building Show



外壁改修関係のお客様から、押出成形セメント板・ALCに施工できるアンカー類に強い関心を得られました。また、当社オリジナル商品である「タップスター」を電気給湯機「エコキュート」の関係者に紹介し、撤去可能であることや、端部割れ抑制の機能について高評価をいただきました。



▲タップスター

## TOPICS シンガポールの住宅建設事業に 02 当社製品が採用されました。

当社創業時より出資や技術導入で協力関係にある世界的なファスニングメーカーのITW社(イリノイ・ツール・ワークス社)の協力のもと、当社製品がシンガポールのHDB(Housing Development Board、住宅開発庁)建設事業に採用されました。

限られた国土を最大限に活用し、「都市国家」として経済発展を遂げてきたシンガポール。そのシンガポールで国民の住宅基盤の整備を進めてきたのがHDBです。国民のおよそ8割はHDBが整備した集合住宅に住んでいます。部屋のタイプはスタジオタイプから5LDKと、ニーズに応じて種類があり、1階の共有スペースには子供たちや老人が集う住民の憩いのスペースとなっています。HDB住宅内に日用品を調達できる小売店やコンビニ、飲食店、保育園が、また数棟のHDB住宅単位で銀行、郵便局、学校、運動場、プールなどが併設されており、HDB住宅内もしくは

周辺で日常生活のほとんどを送れるようになっています。

このようにシンガポール国民にとって欠かせないものとなっているHDB住宅の内装施工に、当社のステンレスピンが使用されています。今回、当社製品が採用されたことで、鉄製ピンが主流となっている世界各国においても、当社のステンレスピンが十分に通用し得る製品であることが確認できました。

今年も、住居の質を高めるための住み替えや老朽化による建て替えなど、HDB住宅は昨年と同程度の規模で建設される予定です。これからもITW社との相互協力関係を深めつつ、日本で培った技術でシンガポールの安心・安全な住宅建設に貢献し、さらに積極的に世界へPRしてまいります。



▲HDB住宅の建設現場



▲当社採用製品:ステンレスピン

平成27年度に、当社製品が採用された物件を日本地図上にまとめました。

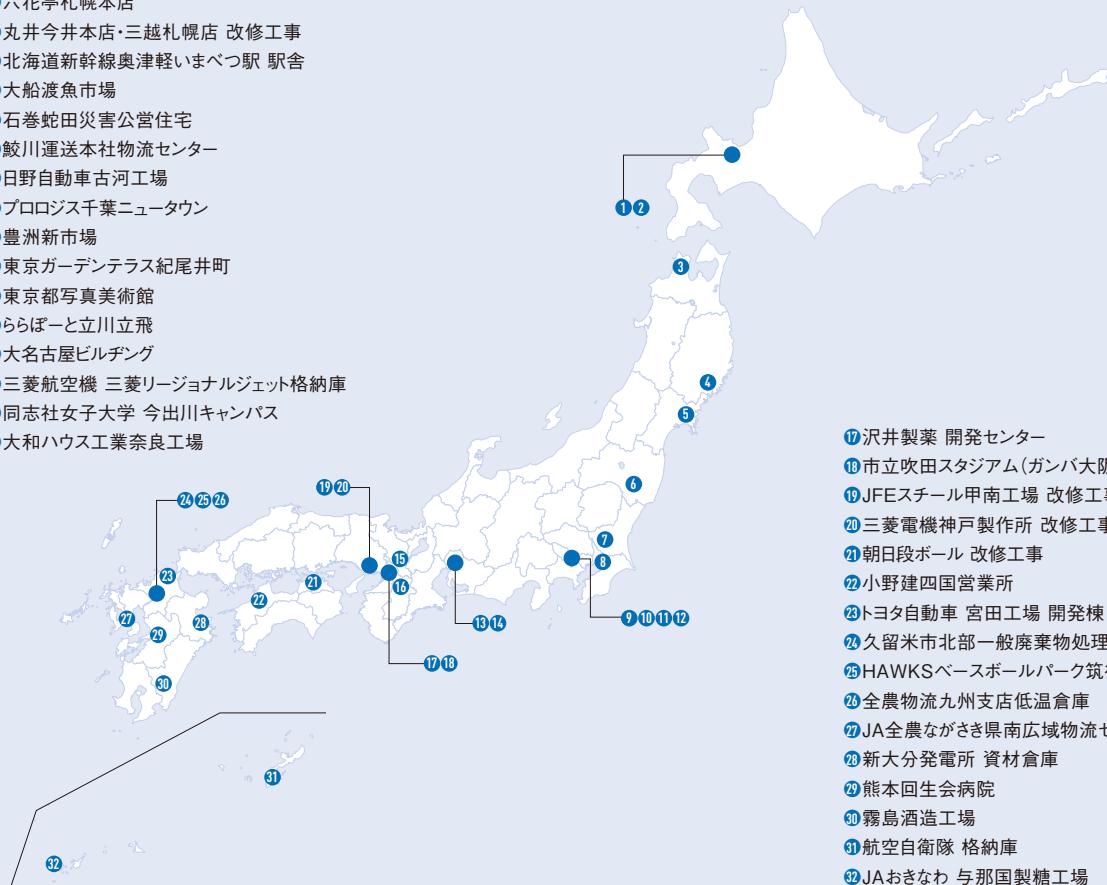
災害公営住宅やスタジアム、物流倉庫など大型物件の新築工事のみならず、工場や駅の改修工事など、

全国各地、さまざまな場所で当社の製品が採用され、お客様より高く評価いただいております。

今後も、建物の価値向上に貢献する製品を提供し、皆さまの快適な暮らしづくりを支えてまいります。

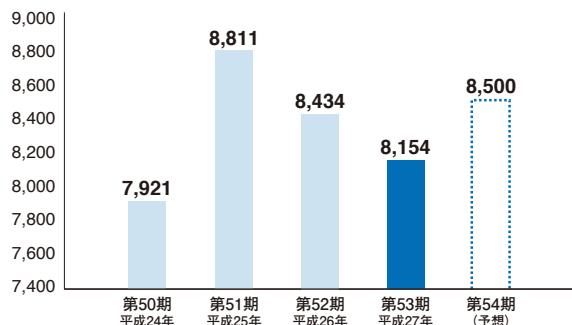
- ① 六花亭札幌本店
- ② 丸井今井本店・三越札幌店 改修工事
- ③ 北海道新幹線奥津軽いまべつ駅 駅舎
- ④ 大船渡魚市場
- ⑤ 石巻蛇田災害公営住宅
- ⑥ 鮫川運送本社物流センター
- ⑦ 日野自動車古河工場
- ⑧ プロロジス千葉ニュータウン
- ⑨ 豊洲新市場
- ⑩ 東京ガーデンテラス紀尾井町
- ⑪ 東京都写真美術館
- ⑫ ららぽーと立川立飛
- ⑬ 大名古屋ビルヂング
- ⑭ 三菱航空機 三菱リージョナルジェット格納庫
- ⑮ 同志社女子大学 今出川キャンパス
- ⑯ 大和ハウス工業奈良工場

- ⑰ 沢井製薬 開発センター
- ⑱ 市立吹田スタジアム(ガンバ大阪)
- ⑲ JFEスチール甲南工場 改修工事
- ⑳ 三菱電機神戸製作所 改修工事
- ㉑ 朝日段ボール 改修工事
- ㉒ 小野建四国営業所
- ㉓ トヨタ自動車 宮田工場 開発棟
- ㉔ 久留米市北部一般廃棄物処理施設
- ㉕ HAWKSベースボールパーク筑後
- ㉖ 全農物流九州支店低温倉庫
- ㉗ JA全農ながさき県南広域物流センター
- ㉘ 新大分発電所 資材倉庫
- ㉙ 熊本回生会病院
- ㉚ 霧島酒造工場
- ㉛ 航空自衛隊 格納庫
- ㉜ JAおきなわ 与那国製糖工場



## 売上高

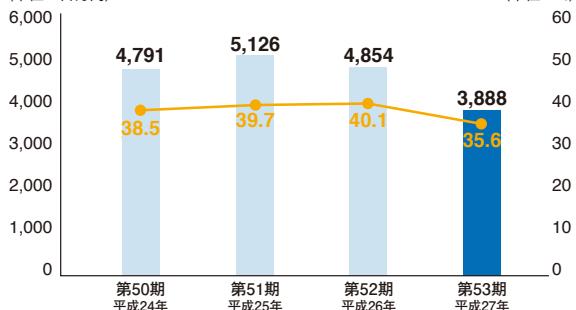
(単位：百万円)



## 純資産／自己資本比率

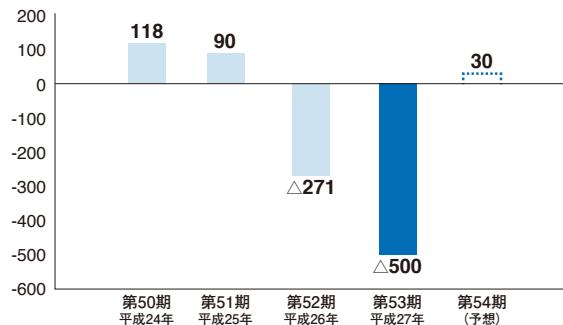
(単位：百万円)

(単位：%)



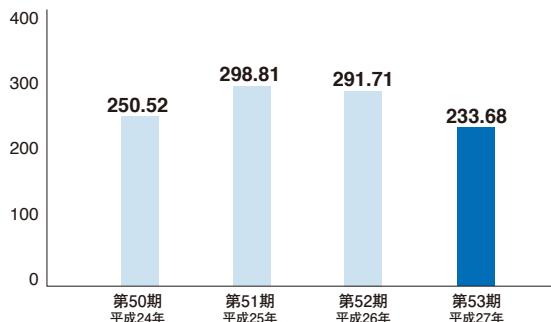
## 営業利益

(単位：百万円)



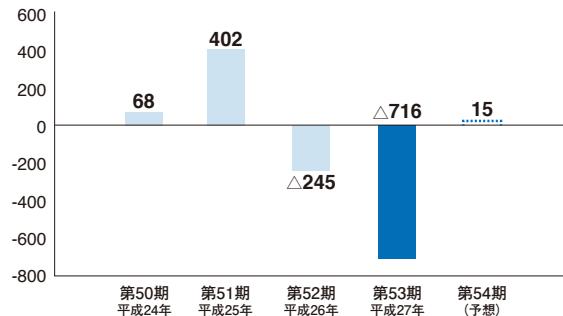
## 1株あたり純資産

(単位：円)



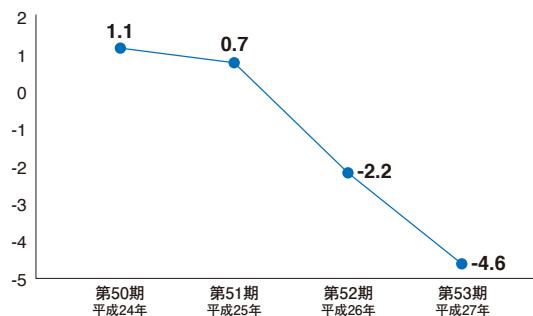
## 当期純利益

(単位：百万円)



## ROA (営業利益／総資産)

(単位：%)



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	〔平成27年 1月 1日から 平成27年12月31日まで〕	〔平成26年 1月 1日から 平成26年12月31日まで〕
<b>売 上 高</b>	<b>8,154</b>	<b>8,434</b>
売上原価	6,749	6,724
<b>売上総利益</b>	<b>1,404</b>	<b>1,709</b>
販売費及び一般管理費	1,905	1,980
<b>営業損失(△)</b>	<b>△ 500</b>	<b>△ 271</b>
営業外収益	78	220
営業外費用	175	127
<b>経常損失(△)</b>	<b>△ 597</b>	<b>△ 178</b>
特別損失	98	1
<b>税金等調整前当期純損失(△)</b>	<b>△ 695</b>	<b>△ 180</b>
法人税等	20	65
<b>少数株主損益調整前当期純損失(△)</b>	<b>△ 716</b>	<b>△ 245</b>
<b>当期純損失(△)</b>	<b>△ 716</b>	<b>△ 245</b>

### 1 売上高

#### 3.3%減

売上高は、前期比280百万円(3.3%)の減収となりました。

うち、建築用ファスナー及びツール関連事業が前期比313百万円減収の7,489百万円、自動車・家電等部品関連事業が前期比33百万円増収の653百万円となりました。

### 2 営業損失

#### 500百万円

売上数量の減少に加え、前期に比べ大幅に円安が進んだことによる中国子会社生産品の採算悪化等により、500百万円の営業損失となりました。

### 3 経常損失

#### 597百万円

営業損失の計上に加え、8月の中国人民元切下げ等による為替差損の発生により、597百万円の経常損失となりました。

### 4 当期純損失

#### 716百万円

上記までの要因に加え、グループ生産体制の再構築に伴い遊休となった固定資産に対する減損損失等を特別損失に計上したことにより、716百万円の純損失となりました。

## ④ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成27年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成26年12月31日現在)	
<b>◎ 資産の部</b>				
流動資産	6,078	6,159		
固定資産	4,844	5,953		
有形固定資産	3,443	3,875		
無形固定資産	142	193		
投資その他の資産	1,258	1,885		
資産合計	10,922	12,112		
<b>◎ 負債の部</b>				
流動負債	5,245	4,893		
固定負債	1,788	2,364		
負債合計	7,033	7,257		
<b>◎ 純資産の部</b>				
株主資本	3,126	3,987		
その他の包括利益累計額	762	867		
純資産合計	3,888	4,854		
負債・純資産合計	10,922	12,112		

## ⑤ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円、△は減少)

科 目	当連結会計年度 [平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで]		前連結会計年度 [平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで]	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 123	341		
投資活動によるキャッシュ・フロー	583	△ 169		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 80	△ 799		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	24		
現金及び現金同等物の増減額	370	△ 602		
現金及び現金同等物の期首残高	638	1,241		
現金及び現金同等物の期末残高	1,009	638		

### 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純損益は大きな損失額でありましたが、減価償却費等の非資金項目の戻し入れ及びたな卸資産の減少等で支出を縮小したことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは123百万円の支出(前期は341百万円の収入)となりました。

### 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の払戻による収入に加え、投資有価証券の売却により、投資活動によるキャッシュ・フローは583百万円の収入(前期は169百万円の支出)となりました。

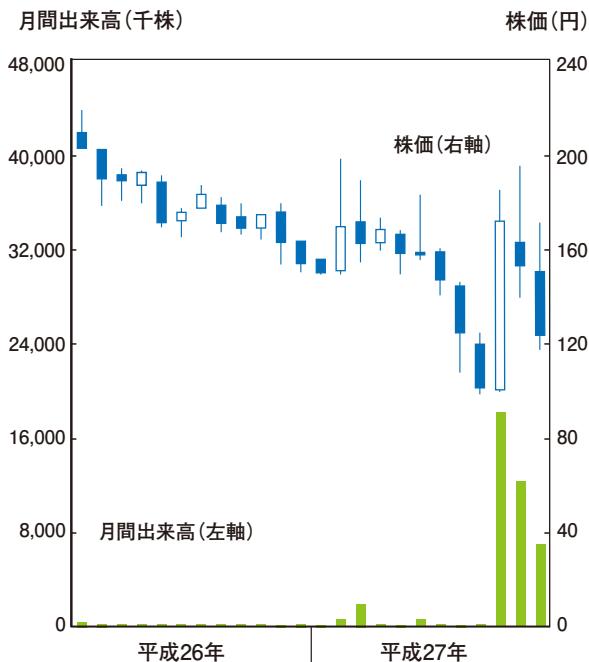
### 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払等により、財務活動によるキャッシュ・フローは80百万円の支出(前期は799百万円の支出)となりました。

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 ..... 39,800,000 株
- 発行済株式の総数 ..... 18,688,540 株
- 単元株式数 ..... 100 株
- 株主数 ..... 1,803 名

## 株価の推移

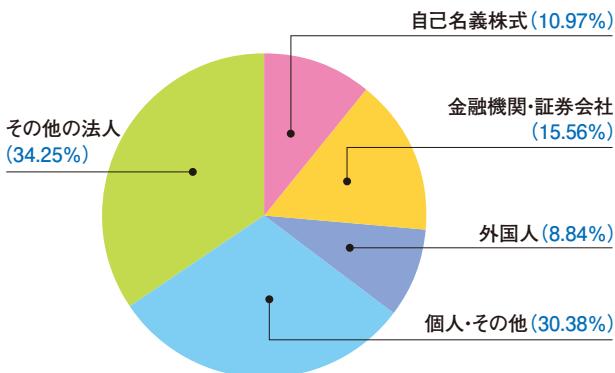


## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(単位:千株)	持株比率
積水ハウス株式会社	3,877	23.30%
土肥智雄	1,510	9.07%
土肥雄治	1,504	9.04%
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	1,000	6.01%
株式会社みずほ銀行	766	4.61%
株式会社池田泉州銀行	762	4.58%
株式会社滋賀銀行	753	4.53%
木田芳佑	367	2.21%
日本生命保険相互会社	341	2.05%
モリテックスチール株式会社	212	1.28%

※1 自己株式を2,047千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 ※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況 単元単位で計算しております



## ☎ JPFグループネットワーク

### ■ 日本パワーファスニング株式会社

設立 : 昭和39年4月21日(登記上は昭和26年3月26日)

資本金 : 2,550百万円

事業内容 : 建築用ファスナー及びツールの製造・販売

本社住所 : 〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番90号

従業員数 : 212名

営業拠点 : 仙台・北関東・東京・静岡・名古屋・富山・  
滋賀・大阪・山口・福岡

事業所 : 北関東・滋賀

工場 : 下館・豊岡

### ■ 役員 (平成28年3月29日現在)

代表取締役会長兼社長 : 土肥 雄治

代表取締役副社長 : 小山 昇

専務取締役 : 伊藤 三郎

常務取締役 : 小西 良幸

村田 定雄

取締役 : 土肥 智雄

取締役(監査等委員) : 海保 好秀

本郷 修(社外)

加藤 弘之(社外)

中国(香港)現地法人

### Japan Power Fastening Hong Kong Limited

資本金 : 127,978千香港ドル

事業内容 : 中国連結子会社の統括・管理支援

本社住所 : 中華人民共和国 香港特別行政区

中国現地法人

### 蘇州強力五金有限公司

資本金 : 11,400千USDドル

事業内容 : 金属製品製造・販売

本社住所 : 中華人民共和国 江蘇省太倉市

中国現地法人

### 蘇州強力電鍍有限公司

資本金 : 1,150千USDドル

事業内容 : 表面処理及び鍍金加工

本社住所 : 中華人民共和国 江蘇省太倉市

中国現地法人

### 蘇州強力住宅組件有限公司

資本金 : 500百万円

事業内容 : 住宅用資材及び部品の製造・販売

本社住所 : 中華人民共和国 江蘇省太倉市

## 株主メモ

● 事業年度末	毎年 12月31日
● 定時株主総会	毎年 3月
● 期末配当受領株主確定日	毎年 12月31日
● 中間配当受領株主確定日	毎年 6月30日
● 株主名簿管理人及び特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ	フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00) <a href="http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/">http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/</a>
● 上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
● 証券コード	5950
● 公告掲載方法	当社のホームページ( <a href="http://www.jpfn-net.co.jp">http://www.jpfn-net.co.jp</a> )に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 株式に関する諸手続きについて

- 当社株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株の買取請求、姓名等の変更等)につきましては、口座を開設されている証券会社にお申し出ください。
- 特別口座に記録された株式(証券会社等に口座をお持ちでない場合)に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座管理機関(みずほ信託銀行株式会社)にお申し出ください。
- 未受領の配当金につきましては、上記株主名簿管理人(みずほ信託銀行本支店)にお申し出ください。